

スマートアイランド推進実証調査(継続)

離島は四方を海などに囲まれ本土から隔離されているため、人の移動や物流への制約などの条件不利性を背景にした様々な課題を有している。

このため、ICTなどの新技術を有する民間企業・団体と離島地域が協力してそれらの課題解決に取り組む「スマートアイランド推進実証調査事業」を令和2年度から実施。

過去の実証調査の例

医療／介護

(島の課題)

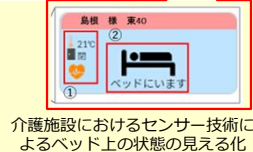
- 本土の医療従事者が島へ移動する際の時間・コスト等の負担
- 島民の高齢化、人口減少による介護人材不足

(実証内容)

- 電子カルテの共有や遠隔モニタリングによる遠隔医療の有効性の検証
- センサー技術を活用した介護業務や見守り活動の効率化に向けた検証



遠隔診療の様子



介護施設におけるセンサー技術によるベッド上の状態の見える化

交通／物流

(島の課題)

- 本土-離島間の定期航路における、限られた運航時間帯による時間拘束の緩和
- 高齢者に対応した新たな移動手段の確保
- 離島への安定的な物資供給に向けた輸送手段の確保

(実証内容)

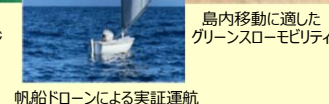
- 自律航行EV船によるオンデマンド輸送のニーズ調査の実施
- グリーンスローモビリティを活用した予約・運行システム導入に向けた検証
- 荒天に強い帆船ドローンの無人運航の可能性検証



自律航行EV船による着岸のイメージ



島内移動に適したグリーンスローモビリティ



帆船ドローンによる実証運航

買い物支援／防災

(島の課題)

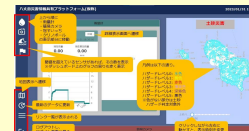
- 商店が少なく、住民の買い物が困難
- 地域防災の人材が不足し、防災体制、監視体制の迅速化・効率化が必要

(実証内容)

- 島内の商店へ注文から配達までをオンラインで完結するシステムの検証
- 防災センサー機器等から得る災害情報を一元化したシステムの検証



注文から配達までをオンラインで一元化



災害情報一元化システム

環境

(島の課題)

- ウニによる藻場の食害により漁業に支障を来している状況
- 島民の高齢化、人口減少による獣害対策を担う人材不足

(実証内容)

- 水中ドローンを活用したウニの効率的な捕獲の可能性を検証
- 獣害罠にセンサーを設置し、アプリを活用した見回り・捕獲・駆除を実施



水中ドローンによるウニ捕獲の様子



鳥獣罠に設置したセンサーからアプリへ通知

アイランダー(継続)

【目的】

全国の離島地域の関係者が集まり、交流促進や定住促進のため、離島の魅力の情報発信を行う機会を提供し、都市住民やその他地域住民のニーズを把握

【内容】

- ① 交流事業や観光情報の発信 ② 移住情報の発信(求人情報、空屋、借家情報等) ③ 離島の伝統文化の体験、特産品の紹介等